

2008年も、川、湖、山、池・・・いろいろな体験をしました！

秋の晩の山・川歩きは、子どもたちからの人気も高い

高鼻川から沢の山、そして美しい沢池へ



高鼻川の源流を過ぎて、峠の分かれ道。大西さんは道なき道を登る。ここで川歩きは山登りに切りかわった。いっただり着くのかと不安をいだきつつ峠にいった。山高ければ谷ふかしく、

子どもたちの人気ナンバーワンの高鼻川に沿ってテクテク。赤や黄色に色付いた葉っぱやどんぐり、松ぼっくり、冬イチゴ。「おいしいよ」と、イチゴをすすめると、腰を引く子と手を差し出す子に分かれた。

11月30日、改札もない田舎の駅、宇多野に集合したのは、子ども10名と大人5名。今日の案内役は、右京区梅津自治連合会の会長、山男の大西賢市さん。



うわーきれい！

子ども川とまちのフォーラム
かわら版

2008年12月5日発行
第13号

NPO法人
子ども川とまちのフォーラム
〒604-8252
京都市中京区雁ヶ井通六角下ル總持院橋町311
TEL: 075-231-5360
FAX: 075-496-8248

またお父さんの会社の話によると昔は、コイ、フナ、アカハライモリと、たくさん生き物がいたそうです。昨日は確認できませんでしたが、生き物が減っているというごことですね。まだく残念で

急な下り坂を一气におり、その先に平らな道が延びる。両側の雑木のやぶで視界を遮られた道を進むと、突然目に飛び込む景色は別天地であった。やわらかなコバルトブルーの水をたたえた池、紅葉したすそもようを鏡にうつすならかな山。標高515Mの沢の山が見下ろす沢の池である。疲れもすつとび、ひとはしゃぎがしたあとは希望の昼食。昼食の後は、水質調査。結果は、CODの値が少し高い以外は、きれいな水のように。別天地をあとにして帰り道をとった。

途中、峠を左に折れ峠ぞいに山を下る。その沢と沢の池をつなぐトンネルを訪ねた。トンネルは素堀で、人がげんのうとのみを使って掘った、直径が1.5Mほどの隧道である。子どもたちにはよい体験会になったと思うし、なかでもトンネルの闇はきつと何かのきつかけになる予感がある。大人、いや、苦しいことをさげがちな私にとっては得がたい時間と空間があじわえた。大西さん、ありがとうございます。 (梶山レポートより小丸編集)

☆とても疲れたけれど、たくさんの自然とふれあえたのでよかったです。特に沢の池の綺麗な色に驚きました。また、紅葉と一緒にコイボレーションすごかったです！



山歩きの感想 (東出夢叶)

わたしは今日山を歩いてみる(とて紅葉がきれいで)と決めて行きました。昨日は、秋の山歩きは、子どもたちからの人気も高い。高鼻川から沢の山、そして美しい沢池へ。子どもたちの人気ナンバーワンの高鼻川に沿ってテクテク。赤や黄色に色付いた葉っぱやどんぐり、松ぼっくり、冬イチゴ。「おいしいよ」と、イチゴをすすめると、腰を引く子と手を差し出す子に分かれた。



す。ブラックバスが原因ではないでしょうか。また寄り合い会議でも、時間があれば、話し合ってみたいです。

中 一真

☆このまえ高鼻川にあって、私が一番印象に残ったのは、険しい山道です。その理由は、大西さんと東出さんで木をけずつたりしてあそんだからです。トンネルもびっくりしました。あの中に一度入ってみたいです。そして、沢の池はともきれいで、そこでお弁当を食べたのも気持ちよかったです。今度はこの川に行くのか楽しみですよ！ 小 6 史佳

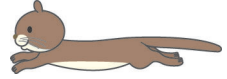


駅のホームが教室に

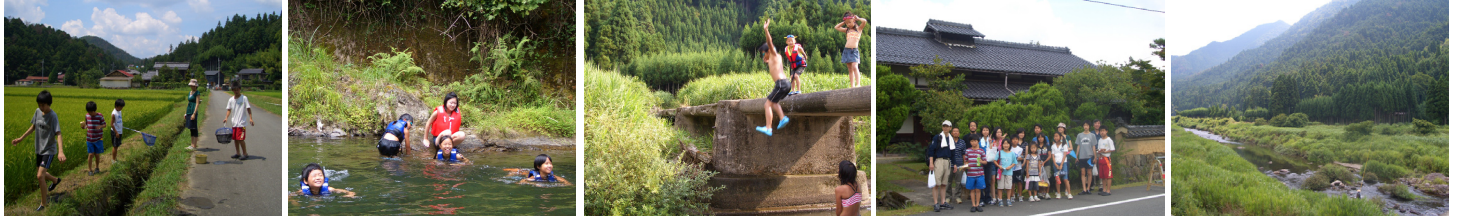
川を感じる 夏休みワークショップ



京都市京北町で自然の川を体験!



フォーラムでは、川体験学習のメインとして、夏休みに1泊2日のワークショップを行っています。「きれいな川でおもいきり遊べる!」と、子どもたちお待ちかねの企画。訪れた場所は、京都市京北町です。生き物さがし、飛び込み、山歩き・・・今回はどんなワークショップになったのでしょうか? 報告と、子どもたちからの感想を紹介します。



おそろおそろ... 潜没橋から飛び込み!

みんなが楽しみにしていた夏のワークショップ。バスをレンタルし、ベテラン運転手のお父さんの運転で京北を目指しました。

今回の内容は、川遊び三昧。山國神社近くの潜没橋あたりで、まずは、川に入って子ども達の心身で川をチェック。魚がいることを確認し、水質調査もしました。休憩とお昼ごはんを食べるため、一旦川を離れて、フォーラム理事の山本さんのお家へお邪魔しました。古い民家を再生された素敵な空間に、みんなでおもわずくつろぎモード。お隣の田んぼでは、男の子たちがドジョウを発見していました。生き物がたくさんいる田んぼっていいですね。

水着に着替えて、いざ川へ。大人が見守る中、潜没橋から順番に飛び込みました。飛び込みをあれだけ楽しみにしていた3人娘は、橋の上でもじもじ、下から見てみるとそうでもないけれど、橋の上は思ったよりもずっと高い。飛びたいけど、怖い、でも飛びたい...。長い葛藤の末、思い切ってジャンプ。一度、飛んでしまえば、もう怖くないようで、何度も飛び込みを楽しんでいました。生き物探しには少し大きめの子どもも夢中で、目を輝かせて魚を探していました。鮎釣りをしているおじさんの横で、素手でヤマメを捕まえるという珍しい一幕も。

宿泊は、京都府立ゼミナールハウスさんにお世話になりました。夜は活動を振り返って、話し合い。川に対して、生き物に対して・・・子ども達が感じたことをお互いに発表しました。最後に、お楽しみの花火。京北は星



オオサンショウウオの赤ちゃんを発見!



自然の川で飛び込み 珍しい生き物も発見

ここは、飛びこむのに丁度よい、大きな岩があり、一昨年、子どもたちに大人気だった川です。なかなか勇気がでなかった子どもも、一歩踏み出して飛び込みジャンプ! 川体験を思いっきり満喫しました。

2日目は、一昨年のワークショップでもお世話になった、京北在住の拓也君(高2)が合流。山の中を歩いて、滝又の滝を目指します。30分ほど歩いて、滝に到着。川の水は、「冷たいっつ!」。滝のそばは、すがすがしい気分になります。カジカ(大きなハゼ)、カワヨシノボリ(小さなハゼ)、タカハヤを捕まえました。

普段の川歩きでは見ることのできない生き物に出会い、さらに考えを深めたワークショップとなりました。やっぱり、川に触れることが一番の『学び』。子どもも大人もおもわず無邪気になっけてしまいました。(大学生スタッフ林レポートより森編集)

☆わたしは、はじめにいった川は、はしから、とびおりられなかったけど、つぎにいった川は、岩からとびおりられたからうれしかったです。

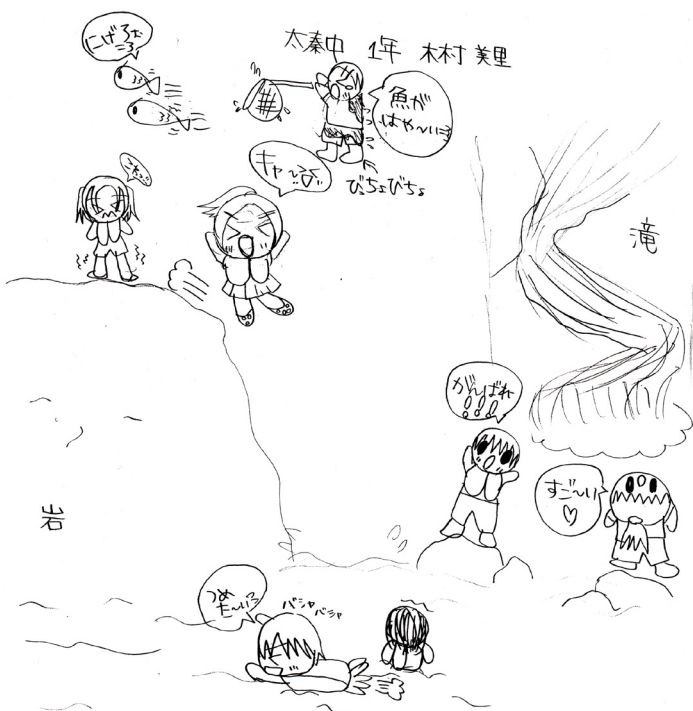
小2 姫叶

☆私はワークシヨップに参加して前にできなかった飛びこみができるのでうれいす。後、2日目でもたくさん川に入れた事もうれしかったです。

☆この川はつめたくて魚がたくさんいました。

☆ここでは私たちが住んでいる時よりもすずしくてもおどろきました！

中1 美里



☆わたしは、1日目も2日目もたくさん川に入ることができてとても楽しかったです。わたしたちが住んでいる所と気温は変わらないけれどとてもすずしかったです。でびつくりしました。やっぱり木や緑が多いのですすしく感じたと思います。

一番楽しかったことは飛びこみです。1日目は橋から飛びこんではじめはともこわくて飛べなかったけどだんだん飛びたくなってきて最後は飛びこみができてうれしかったです。岩の上から飛びこんだのと橋から飛んだのはぜんぜんちがつて橋の方がとてもこわかったです。

また花火もできたり、たきまのたきも見れたのでよかったです。たくさん自然を感じる事ができたのでとても良い1泊2日になりました。ありがとうございました。

小6 藤叶



川歩き まじ歩き 夏・秋

6/7 鴨川ホタルさがし

7/13 奈良川まじ歩き

鴨川にホタルを探しに行きました。お母さん方の参加が多く、いつもとは雰囲気違った川歩きになりました。明るい中には、女の子たちは、シロツメクサで、髪飾りづくりを夢中。ホタルは、ちらりほらりという感じでしたが、少しでも飛んでいてくれてよかったです。(小丸)

フォーラム初めての奈良への川歩き。かわいい鹿が迎えてくれました。午前中は、奈良国立博物館での「法隆寺遺産展」見学。午後からは、春日山原生林へ。佐保川で川遊びをするのを楽しみにしていました。ヒルがいつぱいで諦めることに。二月堂に立ち寄り散歩をしながら近鉄の駅に。歴史を感じる落ち着いた景観の中にと、すこし涼しい気分になりました。(小丸)

☆ほたるを見に行つて、はじめはあまりいなかっただけどよく見てみると、葉の中にかくれていました。光があつて飛んでいるときれいだなあと思いましたが、そして、植物で遊ぶのも楽しかったです。昨日は、少しでもほたるが見れたのでよかったです。また、生き物だけでなく、植物でも遊びたいなあと思いましたが、とても楽しかったです。

小六 千裕

☆わたしははじめて「しか」を見ました!! とってもかわいかったです。博物館で昔の物などみて、今、「歴史」のことについて勉強していたからとっても楽しかったです。次は川に入って遊びたいです。

小六 小夏恵



7/27 鞍馬山と川の体感

貴船、鞍馬川に行きました。川歩きで鞍馬を訪れるのは、2度目。今回も、鞍馬在住の山本くんが案内をしてくれました。川床でにぎわう貴船を歩き、まず貴船神社でお参りとひと休み。次に、鞍馬山に登りました。この登山が大人たちにはかなりきつく、予定より遅れて、山頂に全員到着。午後は山を降りて、鞍馬寺前の地域を歩き、鞍馬川へ。やはりとても気持ちの良い川です。山歩きの疲れも忘れて、生き物探しや、川遊びを楽しみました。(森)

☆今日、貴船に行ってみて、歩くのは少ししんどかったけど、水がとてみきれいで自然ともふれ合えたのでよかったです。

そして、前の奈良に行った時は、川に入れなかつたけど今日は、川に入って魚をつかまえたりして遊べたので楽しかったです。また、次の時も、川へ入ったりして楽しく遊びたいと思いました。今日は、本当にありがとうございました。

小6 千裕



小6 藤叶

☆鞍馬の所にある山を登ったり、川で遊んだりできてとてもおもしろかったです。

この前行っていなかったなので鞍馬はどんな所かを知れたりできたのでよかったです。山登りはちよっとしんどかったけど最後まで登り切れてとても高く景色もきれいだったのでよかったです。

川で遊んで生き物はちっちゃい魚とカワニナとかゴトかしかいかなかったけど服も楽しかったです。木もとても太くいつも見ている木とはちがってとても太かったのでびっくりしました。今日行ってたくさんのお話を聞くことができました、感じる事ができたのでよかったです。

9/28 伏見 旧伏見港

フォーラム理事の宮本さん企画で、伏見へ。現地では、河川レンジャーの中川さんが案内をしてくださいました。伏見といえば、お酒。月桂冠さんの資料館を訪れました。次に、十石船で伏見港へ。三栖閣門の上から、宇治川が一望できます。宮本さんによると、このあたりは、日本有数のつばめの繁殖地なのだそうです。

宇治川の向こうに広がる土地は、昔は小椋池でした。舟で一度戻り、今度は歩いて伏見港に行ってみます。午後は、この日印象に残ったことを絵に描きました。子どもたちの心に残ったことが発見できました。伏見で地下水を飲んだこと、川べりのあじさい、十石船・・・などなど、



☆今日は、船に乗ったりして伏見の町を楽しめたから、とても楽しかったです。地下50メートルから来る水は水道水とちがって「天然の水」という感じがしてとてもおいしかったです。新メンバーがたくさんやってきてくれたのでうれしいです。

小6 小寛

同じ川歩きをしても、目のつけ所はそれぞれでした。(森)

10/11 滋賀 伯母Q五郎の子どもたちと交流

滋賀県の伯母川・津田江湾(内湖)・びわ湖に行きました。「こどもエコクラブ伯母Q五郎」の子どもたちが、京都の子どもたちを案内してくれるという企画です。

お待ちかねの、伯母川での魚とり。ガサガサゴソと草を踏んで捕る方法を伯母Q五郎の子どももリーダー荒井さんが教えてくれました。捕れたのは、どんこ、かまつか、かわむつ、おいかわ、白エビ、やご・・・。滋賀県立大学の大学院生のお兄さんに、魚のお話も聞きました。

午後は、釣りグループと舟グループに分かれて。釣りグループのみんなは、準備から教えてもらいました。実は、私は、ミミズに釣り針をさすのが初めてで、うつと息を止めてしまいました。釣れるのは、ブルーギルばかり。改めて驚きました。

次は、漁師さんの舟に乗せていただき、津田江湾のえりの見学。ここでもまた、ブルーギルが沢山とれました。漁師さんによると時期的にも、今は、外来魚ばかりのことでした。

公民館に移動して、琵琶湖のビデオを観た後、伯母Q五郎の子どもたちの進行で、話し合い。琵琶湖の内湖が減ってしまったこと、外来魚が増えて、もともと

琵琶湖にいた魚たちが減ってしまっていることなど、琵琶湖の問題について知りました。どうしよう？は、それぞれの子どもたち、大人たちの宿題です。

解決策の一つ。「魚をとったら、食べよう！」ということで、ブラックバスの天ぷらをいただきました。外来魚ではないですが、フナのお造りも。調理していただいた、中村先生、お母さんたち、ごちそうさまでした。ブラックバスは、白身で淡白な魚です。食したブラックバスの胃袋の中を見せてもらいました。ちよきちよきハサミを入れる先生のもと、子どもたちも興味深々。なんと、出てきたのは、ブルーギルでした。好物の在来魚が居なくなってきた、外来魚が外来魚を食べているようです。

盛りだくさんの楽しい一日を過ごすことが出来ました。伯母Q五郎の子どもたち、そしてお世話になった大人サポーターの皆さん、保護者の皆さん、ありがとうございました。今度は、京都の子どもたちが案内をしたいそうです。「寄り合い会議」にも是非来て欲しいと思います。

(小丸レポートより)



☆びわ湖には深くなく問題があつてそれを解決するには多くの時間がかるというところが分かりました。外来魚や水質、ヨシの減少など私たちのやってきたことは取り返しのつかないことなのかもしれないけどいつか人間やすべての動物が気持ちよく過ごせる環境をつくりだせたらいいなと思いました。

☆びわ湖の周りに作ったコンクリートの道。コンクリートは人間には便利だけれど、びわ湖に住んでいる魚にとっては、すごく住みにくくなっているかもしれないです。それぞれの立場になって考えてほしいです。こんな風に考えるようになったのも川フォーラムのおかげです。

小6 菫

☆初めてブラックバスやフナなどを食べることができてうれしかったです。どんな味がするのか食べる前にはドキドキしました。だけど食べてみるととてもおいしかったです。

☆ただけ滋賀県ではブラックバスやブルーギルなどのせいで滋賀県の魚が少なくなってきたと聞いてびっくりしました。わたしにも何かできることがないかなあと思いました。船にも乗らしてもらってあみで魚をとってはいったけどほとんどがブラックバスやブルーギルだったので他の魚も見えなかったです。

☆今日はとても楽しかったし、また伯母川にも行きたいし、次は伯母Qの人を京都の川に招待してあげたいです。

小6 葵叶

☆ぼくはつりがたのしかつたです。ぜんぶで2ひきつれました。ふねにもつりま

した。つよいかげがふきました。およぶのがすきなのでびわこの中を、1かい見てください。

小2 良夫

☆ぼくは、フォーラムに行つて、びわこにはそんなことがおこっているんだ！と思いました。ほかにもびわこおナマズとか、外来魚のカムルチーやブラックバスなどの魚がいるんだなと思いました。

小3 陽彩

☆おぼQはとっても楽しかったし、魚とついで、たくさん魚がとれたりして、すごくおもしろかったです。

小5 瑞生

☆私は、行く時とても楽しみでワクワクしていました。琵琶湖での魚つり、船にのつてえりのあみで魚をつかまえた時は、とても楽しくてたまりませんでした。ほとんどブルーギルやブラックバスがつれました。勉強した時、ブラックバスやブルーギルは、とつたら食べるか殺すかどうかにかした方がいいと聞いてびっくりしました。はじめて知つたので覚えておきたいです。

小6 真由

☆川に入り魚をつかまえるのをやるのに私はえさをまいて大きいあみでとると思つていただけおぼQのメンバーに聞く

と足で草のところふんであみをあげると魚が入っているのがあるのでとてもびっくりしました。

☆びわ湖はしつこにまだちゃんと湖があつたのに道を作ろうと言つことになつて魚がたまごを生む時なのにそのせいでたまごが生めなくなつてしまつたのがかわいそう、はじめて知りました。ブラックバスの胃の中を見つてみるとブルーギルが入つていたのがちよつと気もちわるかったです。私は川フォーラムに行つてもよかつたなあと思いました。知らないことがいっぱいあるんだと思いました。

小6 侑里

☆ぼくは、きょう、魚つりをして、ブルーギルを5ひきくらいつれたからうれしかったです。またこんなきかいがあつたらきたいです。

小3 峻祐

☆私ははじめて参加をして、はじめはなかなか分からなかつたけど、やってみて楽しかったです。私がいちばん楽しかつたのは魚つりです。魚つりははじめてで、つれるのかな？と思つたけど1ひきだけつれてよかつたです。今日参加して、楽しかつたから、また参加をしてみたいです。

小5 菜由



寄り合い会議に参加しませんか？

フォーラムでは、年に1回、「川とまちの寄り合い会議」を行っています。
子どもたちのコーディネートのもと、子どもたちの発表、子どもの会議、子どもと大人の会議を持ちます。会議というとむずかしそうですが、日頃考えていることや、思っていること、聞いてみたいことなど、他の子どもたちや、専門家や行政の大人の人たちと、意見のキャッチボールをするのです。
今度の会議のテーマは、子どもたちが話し合っているところ。さて、どんな会議になるのでしょうか？ 関心のある子どもたちは、是非、来て下さいね。



前回の寄り合い会議の様子

日：2009年 3月29日（日）

場所： コープイン京都

◎ 何かたずねたいことがある人は、フォーラム事務局長、塚本まで（090-3729-7128）

子どものみなさん大募集！

山・川のこと、川・まちのこと。
一緒に学んで、体験しませんか？

- ☆ みんなで川と遊ぼう！
- ☆ 自分たちの川・まちが大好きになるよ
- ☆ とても楽しい自然の川に出あえるよ！
- ☆ みんなで生き物をかんさつしよう
(子どもメンバーより)



子どもと川とまちのフォーラムでは、一緒に活動をする子どもメンバーを募集しています。月に1回程度、川歩きなどの活動をしています。かわら版やホームページをみて、「面白そうだな」と思ったひとは、一度参加してみてね。

対象：小学4年生～中学3年生。詳しいお問合せは、NPO法人子どもと川とまちのフォーラムまで。

総会終了報告

当フォーラム総会は、八月二十三日「コープイン京都」にて、正会員、監査役により開催致しました。

それに先立ち初の試みと致しまして、公開で子どもたちとともに発表報告、参加者の皆さまとのやり取りも持たせて頂きました。

総会では、理事会からの推薦により、理事長の井手が議長として選出され、その進行で、理事長の挨拶の後、小丸からの昨年度事業報告、会計の森が会計

報告を行い、監査役の安部税理士、川原先生から監査、承認を頂きました。

次に、塚本副理事長より本年度の事業計画、森理事より予算案の発表を行いました。

最後に、吉田理事（総会にて副理事長に就任）より役員案が発表され、それぞれの議題に対し、出席者の皆様の承認を頂き、滞りなく、総会は終了致しました。

これまでの活動を直接、間接に御支援、御協力頂いた皆様に、感謝を申し上げます。これからご支援のほど、どうかよろしくお願い致します。

フォーラムを支えてくださっている皆さん

賛助団体 村田機械株式会社 (10口以上)
(五十音順) 大阪ガス(株)・オムロン(株)・賀茂豆腐(株)近喜・関西電力(株) 京都支店
(株)イシダ・京セラ(株)・(株)京都銀行・(医)京町太田医院・(株)村田製作所・ローム(株)
小川工務店(株)・(株)樽徳商店・(株)トーセ・富光商事(株)・若山不動産



協力 【HPデザイン】手仕事雑貨屋 風土 【デザイン】KOTO DESIGN Inc.

賛助会員(個人)の皆様
ご支援、ご協力ありがとうございます。

この活動は(財)河川環境管理財団河川整備基金の助成を受けています。

NPO法人子どもと川とまちのフォーラム

〒604-8252

京都市中京区醒ヶ井通六角下ル越後突抜町 311

TEL.075-231-5360 / FAX. 075-496-8248

E-mail kodomo-kawa-machi@mbr.nifty.com

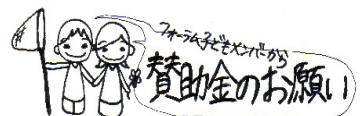
HP <http://homepage2.nifty.com/kodomokawamachi/>

Blog <http://kawamachi.exblog.jp/>

編集後記

昨年は開催できなかった夏のワークショップ。今年は去年の分まで思う存分川遊びを楽しみました。私も、岩からの飛び込みに挑戦！爽快でした。かわら版が定期的に発行できておらず、今回も小丸さんお手伝いしてもらいながらの作成となってしまいました。今度こそ、こまめに作業しよう！と、いつも思うのですが… かわら版編集 森由貴

私たちの活動を 支えて下さい



- ・賛助会員 個人 5,000円 (1口以上) /年
- 団体 20,000円 (1口以上) /年
- ・子ども会員 (小4以上18歳以下とします) 0円

● 会費などのご入金は、
00990-9-206497 (郵便振替) まで